

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	06055-1	事業名	森林公園管理費	部名	環境産業部
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造			室名	森林林業室
	基本施策	04:自然との共生			財	会計 一般会計
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全			務	款 農林水産業費
	戦略プロジェクト				科	項 農林水産業費
					目	目 林業振興費

② 目的・概要	対象	市民及び企業
	目的	郷土の豊かな自然に触れ親しむことにより、自然への理解を深め、将来にわたり自然を守っていく意識の醸成を図るとともに、憩いの場、自然及び体験学習の場を提供する。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	①	名称	年間来園者数	計画値		
			補足	市民等	実績値	3,400	1,757
		単位			人	人	人
	②	名称	活動グループの活動回数	計画値			
		補足	市民で組織された4つの活動グループ	実績値	15	11	15
	単位				回	回	回
成果	①	名称		計画値			
		補足		実績値			
		単位					

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					活動グループ(生物多様性研究、森林・里山保全、炭焼窯復元・炭焼体験、きのこづくり体験) 活動回数計:15回			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,480	
		事業費		3,822	3,489	一般職員人件費 ②	1,480	平均給与額×③
		国庫支出金				所要人員 ③	0.20	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他		3	3	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		3,819	3,486			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	1,480				
	総コスト		⑥	4,969				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	郷土の豊かな自然に触れ親しむことにより、自然への理解を深め、将来にわたり自然を守っていく意識の醸成を図るとともに、憩いの場、自然及び体験学習の場を提供するため、生物多様性研究活動グループによる園内の植物調査やきのこづくり体験活動グループにより菌打ち体験や収穫活動を実施した。 また、平成23年4月に開園して以来、来園者数が年々減少しているため、平成26年11月に亀山森林公園利活用計画を見直すとともに、亀山森林公園整備等検討委員会を再編し、今後の利活用について協議した。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	グループ活動も4年目を迎え、やや活動が停滞状態となるとともに、公園への来園者が減少傾向にある。また、市内の児童や園児の利用が加太小学校や加太保育園の加太地域のみである。	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	平成26年11月に見直した「亀山森林公園利活用計画」に基づき、体験活動グループについては、引き続き少人数のゼミ方式で、年に複数回開催し、継続的に行う。また、「みえ森と緑の県民税市町交付金活用計画」に基づき、「森の学校屋外編」として、自然観察会やきのこづくり体験、間伐体験や木工教室、森の講座などのフィールドとして活用する。 また、中央公民館と協力して市内小中学校や保育園・幼稚園に活用を呼びかける。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切